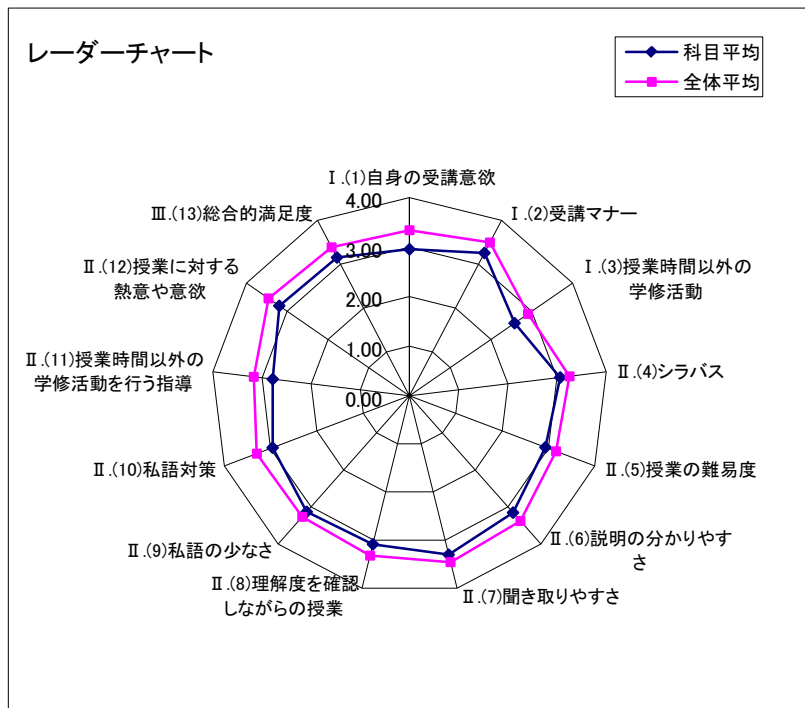
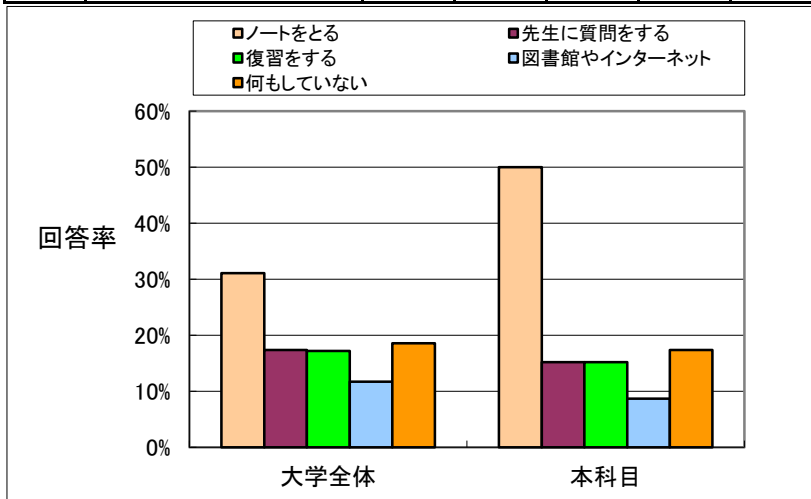


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	50.0	15.2	15.2	8.7	17.4



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	2.96	3.34
	I.(2)	3.26	3.49
	I.(3)	2.58	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.07	3.26
	II.(5)	2.93	3.16
	II.(6)	3.15	3.38
	II.(7)	3.30	3.46
	II.(8)	3.09	3.32
	II.(9)	3.13	3.27
	II.(10)	2.96	3.30
	II.(11)	2.78	3.17
	II.(12)	3.20	3.46
	総合評価	III.(13)	3.15

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	2.93	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.07	3.31
総合評価 III.(13)	3.15	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	2414
科目名	人的資源管理論 I / 人的資源管理論
教員名	

①授業計画の達成度について

最初の授業に詳細なシラバスを配付し、授業の進め方について説明した。毎回授業の終了前に学生に所定の用紙を渡し本日の講義で理解でなかったこと改めて担当者に尋ねたいこと・確認したいことを書いてもらい、それに対する回答をつぎの時間の冒頭に丁寧に説明して、授業をおこなってきた。8回目の授業に小テストを実施し、その場で学生に解答を解説した。上記の作業を積み重ね学生の反応も良かったので、担当者としては当初の想定通りの授業展開となったと考えていた。

②授業の進め方について

最初の授業日に私語についての担当者の考えを説明し、私語が目に見えるならば授業をしない旨を伝え、更には時々板書して、私語対策に努めてきた。完全に私語がなくなったとは言えないが、効果はあったと思う。「①授業計画の達成度について」で記載したように、学生の理解度を確認しながら授業を進めてきたし、適当なテンポで学生に話しかけることを心がけてきた。中間アンケートを見る限り、その点を学生は理解してくれているものと考えてきた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

アンケート結果を見ると、すべての項目で平均点を下回っている。この数字は「予想外」であり、ショックであった。個々の項目を見ると、2点で評価をしてくれた学生の存在が全体の評価を下げている。担当者の立場から言えば、学生がさまざまな意味で「二極分解」しているということなのだろうか。教員は毎年本年度はどのレベルの学生に話しかけるかを決めておいてとりあえず授業を進め、その後軌道修正していくものであるが、今年は「失敗」したということであろう。今までと異なる取り組みができるか、4月迄にじっくり考える。